

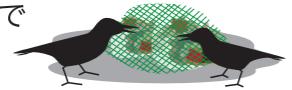
2 まちの美化の推進

1,700万円

ごみの散乱の防止や不法投棄ごみ対策に関する事業を行っています。
そのうちの一部を紹介します。

家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業

市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上）ごとに、防鳥用ネットを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960

不法投棄監視カメラ等の貸出事業

常習的な不法投棄に悩む地域団体に対し、監視カメラを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL:075-213-4960

3 地球温暖化対策

5億2,010万円

「京都議定書」誕生の地、環境モデル都市として様々な地球温暖化対策事業に取り組んでいます。
そのうちの一部を紹介します。

すまいの創エネ・省エネ応援事業

温室効果ガスの発生が少なく、枯渇のおそれがない、太陽光などの再生可能エネルギーの普及拡大を進めるため、太陽光発電システムをはじめ、蓄電システム、太陽熱利用システム、エネファーム及びHEMS（家庭用エネルギー・マネジメントシステム）の住宅等への設置費用の一部を助成します（平成30年度の申請受付は、既に予算額に達したため、受付を終了しています）。

また、太陽光発電システムをはじめとした創エネ・省エネ設備の設置の効果や活用方法などを知りたいイベントを、大型ショッピングモールや動物園などで実施します。

【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

「エコ学区」

ステップアップ事業

環境学習会の開催や省エネ診断会の実施等、学区の状況に応じた多彩なプログラムを提供することにより、主体的なエコ活動を支援します。



【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

より一層、有料化財源の使い道を知りたいとする方へ、これからも分かりやすい広報に努めています！有料化財源を活用した事業のチラシやパンフレットには「目印のマーク」が掲載してあるよ。探してみてね。

目印のマークです



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています



美しい地球を次世代に引き継ぐため、これからも有料化財源を有効活用していきます！

環境政策局ごみ減量推進課 TEL 075-213-4930

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html>

京都市ごみ・リサイクル

検索

京都市環境政策局ごみ減量推進課発行 京都市印刷物 第304568号



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



ご存知ですか？

家庭ごみ

有料指定袋制のこと

平成30年9月

市民の皆様のご理解・ご協力により、平成18年度に家庭ごみ有料指定袋制を導入して以降、導入前と比べて約3割の家庭ごみを減らすことができました。

その結果、京都市の市民1人1日当たりの家庭からのごみ量は、402g（平成29年度）と政令市で最も少ない量（他の政令市平均557g^{※1}）となっています。ありがとうございます。

皆様にご負担いただいた、有料指定袋の販売収入額（年間約18億円）は、全額をごみ処理コスト（年間213億円）に充当し、その結果節減することができた一般財源の相当額を「有料化財源」と位置付け、「ごみの減量・リサイクルの推進」「まちの美化の推進」「地球温暖化対策」に資する事業の財源として活用しています。

より一層のごみ減量に向け、ご協力をお願いします。

※1：平成28年度 環境省一般廃棄物処理事業実態調査より

家庭ごみ有料指定袋でも

CO₂削減！！

～バイオマスポリエチレンの活用～

平成30年度から、CO₂削減を図るため、政令市で初めて原料の一部（10%）にバイオマスポリエチレン^{※2}を活用した有料指定袋の販売を開始しました。

※2：食べることのできない
サトウキビの芯などから
生成されたポリエチレンのこと

市民による自治120年



京都市
CITY OF KYOTO

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています





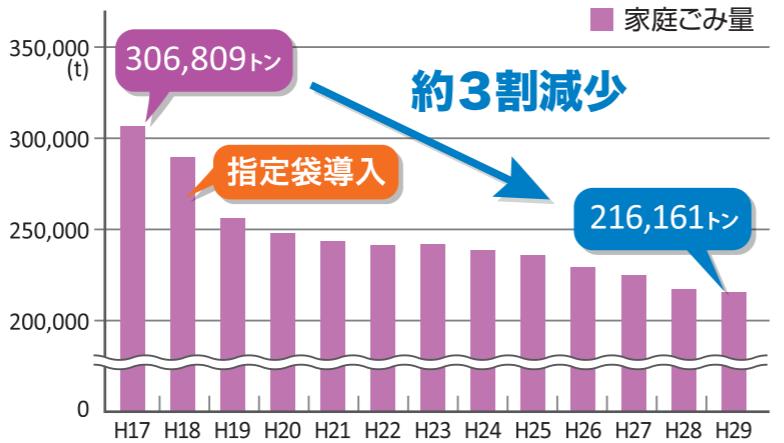
家庭ごみ有料指定袋制は、ごみ減量・リサイクルの推進を目的としています！

- ごみの減量により、クリーンセンター（清掃工場）は、かつての5工場から3工場にまで減らすことができました。

- また、ごみ処理にかかる費用も大幅に削減できました。

削減効果

- クリーンセンターの建替経費 約400億円×2工場分=△約800億円
- クリーンセンターの年間運営費 約10億円×2工場分=△約20億円/年
- 年間のごみ処理コスト（平成14年度→平成29年度） △約154億円/年



ごみを減らすことによって、地球温暖化の原因となる温室効果ガス（CO₂など）排出量が減少し、低炭素社会の実現にもつながります。また、京都市唯一の埋立処分場をできるだけ長く活用していくことにもつながります。

- しかし、ごみの処理には、年間213億円もの巨額の費用がかかります。（平成29年度）

45リットルごみ袋（燃やすごみ）1袋当たりの処理経費：244円

- クリーンセンターをより長く使っていくためには、定期的なメンテナンスと、約20年間使用した後には、大規模な改修が必要です。

- そのときには、市全体のごみを2工場で処理しなければなりません。

- そのため、ごみの減量を加速させ、現在の年間41万トンから39万トンまで削減する必要があります。

- 資源・エネルギーの有効利用・環境負荷の低減、ごみ処理コストの最小化に向けて、より一層の減量にご協力をお願いします。

有料化財源として、皆様に身近で環境にやさしい事業へ活用する額は、

16億8,350万円（平成30年度予算）

有料指定袋の販売収入額17億6,830万円 + 京都市民環境ファンド※取り崩し5億9,320万円 - 有料指定袋の製造経費等6億7,800万円

これを次の3つの分野の事業に活用するとともに、南部クリーンセンター第二工場（仮称）建替えに伴う環境学習施設の整備に4億1,600万円を活用しています。

また、中長期的な事業に役立てるため「京都市民環境ファンド」に7,000万円を積み立てます。※環境共生社会の実現に向けて創設された基金です。



1 ごみ減量・リサイクルの推進

6億6,040万円

個人やグループ単位でごみ減量・リサイクルに取り組んでいただく事業等を中心に行ってています。そのうちの一部を紹介します。

食品ロス削減等の推進

- 京都市食べ残しぜロ推進店舗認定制度（食品小売店版）の創設

販売・購入される食品が、捨てられることなく、食べられる=「食べ残しぜロ」を目指し、食品ロス削減の取組を進めるお店を認定することで、食品ロス削減の輪の拡大を図っています。



- 地域学習会「しまつのこころ楽考（がっこう）」

食品ロスの削減をはじめとしたごみ減量への理解と実践を呼び掛ける啓発活動として、「ごみ減量について楽しく考えよう」をコンセプトにした学習会を各地で開催しています。



紙ごみ削減推進事業

- 地域で資源物を回収する
コミュニティ回収事業の拡充



古紙類（新聞・雑がみなど）、古着類などの資源物を回収する地域の皆様の主体的な取組に対して助成するコミュニティ回収制度について、助成対象をマンションの管理会社等にも拡充し、紙ごみ分別排出機会の拡大を図ります。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL: 075-213-4960

小型家電リサイクル事業



使用済小型家電を回収し、貴金属等の有用な資源のリサイクルを行っています。また、資源の循環、リサイクルの見える化として、小型家電から回収した「金」を、京都マラソン2019の優勝メダルや祇園祭山鉾における装飾品（金工品）等の修復に活用します。

対象品目 高さ30cm×幅40cm×奥行40cm以下の電気・電池で動く製品とその付属品（例：携帯電話、デジタルカメラ、炊飯器、電動工具、ゲーム機、トースターなど）
※ただし家電4品目（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機）、パソコン、石油・灯油ストーブを除く。

回収場所 区役所・支所等、駅、民間施設

※詳細はホームページなどでご確認ください。

【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL: 075-213-4930

- コンビニ等から排出される食品ロスに係る調査

コンビニや食品スーパー等にご協力いただき、市内食品小売業者における食品ロス削減の取組や食品廃棄物の発生量等を把握したうえで、食品リサイクルの促進と食品廃棄物の発生抑制に向けた方策（優良な取組事例の普及・拡大等）を検討します。



- フードバンク等活動支援助成制度

フードバンク活動やフードドライブの実施など、食品ロス削減に取り組む団体に対して、事業の実施に必要な経費の一部を助成しています。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL: 075-213-4930

- 大学生・ごみ減量サポーター事業

大学生等がSNSを活用し、自ら実践した2Rや分別の取組を広く発信することで、若者世代を中心にごみ減量、分別・リサイクル意識の向上、ごみ減量行動の実践及び定着を図ります。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL: 075-213-4930

資源物の拠点回収

- 資源物の回収拠点：区役所・支所、まち美化事務所、上京リサイクルステーションなどの拠点で回収します。



- 移動式拠点回収：まち美化事務所が皆様の身近な場所（公園・学校など）に出向き回収します。

対象品目 古紙類、古着類、使用済てんぷら油、蛍光管、小型家電などの資源物

【問合せ先】まち美化推進課 TEL: 075-213-4960

環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」

ごみ処理・再資源化施設を見学するバスツアーを開催します。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL: 075-213-4930